



# 情報システム部門の運用・ 保守業務分析サービス

情報システム部門の組織力最大化を目的とした分析サービス

情報システム運用・保守に関わる組織は、属人化による人の固定化の事業継続リスク、変化に追随できないといった課題を抱えています。一方で、今ある運用・保守運営が合理的なものになっているかどうかを自社で判断するのは困難なのが実情です。

アビームコンサルティングは、情報システム部門の主作業である運用・保守の人および作業に着目し、独自の分析フレームワークを用いて、組織と業務を分析します。組織力を最大限に高める土台となる情報を、第三者的見地から提供いたします。

#### サービス提供の背景

現在、情報システム部門をとりまく環境は非常に厳しいものがあります。また、その多くの課題により、組織内に閉塞感があり、人材が活性化せず、意識が向上しないという状況に陥っているところも少なくありません。人材の活力を高めるには、役に立つ存在であると、それぞれが実感できるようにすることが重要です。「役立つと実感できる仕事」にシフトしていくと同時に、事業継続およびコスト抑制をするためには、人件費の変動費化を視野に入れた人員の配置に焦点を当てることが有効です。

アビームコンサルティングは、独自の分析フレームワークを用いて、組織および基幹システム(ERP)における運用保守業務を分析します。

情報システム部門の組織力 最大化を目指すために 何をすべきか知りたい

コスト低減力/変化対応力/効率性/ビジネス貢献力/事業継続性 という5つの分析軸にて組織力最大化のヒントを明示

運用保守コストを経営状態に 合わせ、柔軟に対応したい

運用保守作業のうち、変動費化可能な部分を明示

社内人員を社内で専念 すべき業務にシフトした場合、 社内要員をどの程度に したらよいか知りたい

運用保守業務を社内でやるべきことと社外でやるべきことに切り分け 何人でやればよいかを算出

#### サービスの概要

情報システム部門の運用・保守業務分析サービスは、独自の分析フレームワークを用いて、組織および基幹システム (ERP) における運用保守業務を分析します。

アビームコンサルティングが 蓄積したノウハウ・経験から 活性化した運用保守のポイントを アドバイスします

運用保守における 人・業務に着目し、 課題を明らかにします 分析フレームワークを 用いることにより、 短期に効率よく 評価・分析を行います

社内で実施すべき作業と その要員数を明らかにします 第三者の立場から 公平な評価・判断を 行います

## 分析方法

アビームコンサルティングが開発した分析フレームワーク(組織評価と業務評価)を用いて、あるべき運用保守との差を明らかにします。

組織評価(5軸分析)					
	分析軸	分析観点			
1	コスト低減力	運用保守コストを低減させる取り組みを実施しているか			
2	変化対応力	経営環境などの変化要因に対して、対応できる 仕組みがあるか			
3	効率性	運用保守業務を効率的に実施しているか			
4	ビジネス貢献力	業務課題解決などビジネスへ貢献する取り組みを 実施しているか			
5	事業継続性	事業を中断することなく安定して継続する取り組みを 実施しているか			



## 工程およびスケジュール

準備・分析・結果報告まで約1ヶ月かかります。

Week 1	Week 2	Week 3	Week 4
準備	5 軸分析 コスト低減力/変化対応カ/ 効率性/ビジネス貢献カ/ 事業継続性	イン/アウト分析 業務の切り分け 要/不要 イン/アウト	報告書作成
分析に必要な資料の 説明と準備	ヒアリングによる 5軸分析の実施 (2回程度)	ヒアリングによる イン/アウト分析 の実施 (2回程度)	分析結果の整理と 報告書作成

## 分析結果イメージ

運用保守業務分析結果報告書における分析イメージは以下の通りです。

